

村の駅「きたかんだの郷」  
松本さん 渋谷さん  
みんなが元気に  
なればいい。  
No.49



村の駅「きたかんだの郷」のある場所は、もともと農協が運営するガソリンスタンド。それが農協の統廃合でなくなることに...  
「なにかやりたい。」  
そこで立ち上がったのが、松本さんだ。  
「じいちゃん、ばあちゃん、の楽しみでやっている。農家のみんなの思いや。」  
現在100人ぐらいの会員がいる。  
平成21年10月にオープン。仮オープンが8月。  
「今は土日だけの限られた時間で開いているが、

本当は四六時中やりた  
い。」  
北蟹谷の子供達「か  
にっこ会」に今年の夏休  
みに防火壁に絵を書いて  
もらおうというイベント  
を開催。



「最近の子供は落書きな  
んかしてないやろ。あれ  
もダメ、これもダメと。」

この街で頑張る人、会社、団体を  
「人と人とのつながり」で紹介  
していきます。



しげる店長

「北蟹谷の地区も少子高  
齢化やろ。そうかといっ  
て元気なお年寄りはいっ  
ぱいおる。」  
「場所さえあれば、わいわ  
いがやがや情報交換でき  
お茶でも飲めればいいの  
かな。みんなが元気にな  
ればと思っています。」  
「これが『きたかんだの  
郷』の第一目標！」  
先日クロスランドおや  
べで開催された農業祭で  
北蟹谷から8人も表彰さ  
れた。

「こころは猪も熊もで  
るところ。自然薯やレン  
コンが立派なものができ  
るよ。」



農産物の直売のメリッ  
トは、やはりコミュニケーション。  
「なん儲ける必要ないが、  
百姓らしさを出したい。  
泥付きだったり、不揃い  
だったり、それがいい。」

やるのは簡単だが、品  
物が集まるかどうか心配  
だった。また、良い物が揃  
うかも不安だった。  
毎日営業するには品物  
を揃える必要がある。特  
に冬場は品数が少ない。



運営に携わるもう一人  
の中心人物、渋谷さんにも  
お話を伺った。  
「北蟹谷の明かりを消さ  
ないためにもこの場所は  
必要。」  
ここが北蟹谷のメイン  
ストリートだった。地区  
の人にとつたら、抛り所  
の場所。  
それが次から次と明か  
りが消えた...  
「これでじゃあかん。何か  
立ち上げよう。」



「それでニシンの糞漬け  
や漬物など、加工品をみ  
んなで勉強してやらない  
といけないという事に。」  
「きたかんだの郷」は、  
夏場はビアガーデンにも  
なる。

まさに地元愛に満ちた  
地元のための直売所とい  
う温かさ溢れた場所だ。



やるのは簡単だが、品  
物が集まるかどうか心配  
だった。また、良い物が揃  
うかも不安だった。  
毎日営業するには品物  
を揃える必要がある。特  
に冬場は品数が少ない。

村の駅  
きたかんだの郷  
富山県小矢部市末友  
(国道359号線末友交差点すぐ側)

プレゼント



地元愛に満ちた地元のための  
直売所の詰め合わせ

野菜の詰め合わせ 3名様

募集期間：平成22年12月13日(月)まで  
PC・携帯からのご応募：http://www.startaro.com/shop/  
OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
Oyabe Local SNS：http://www.sns.startaro.com/

野菜もそうだけど、  
心が気持ちいい場所です。



店長の一言